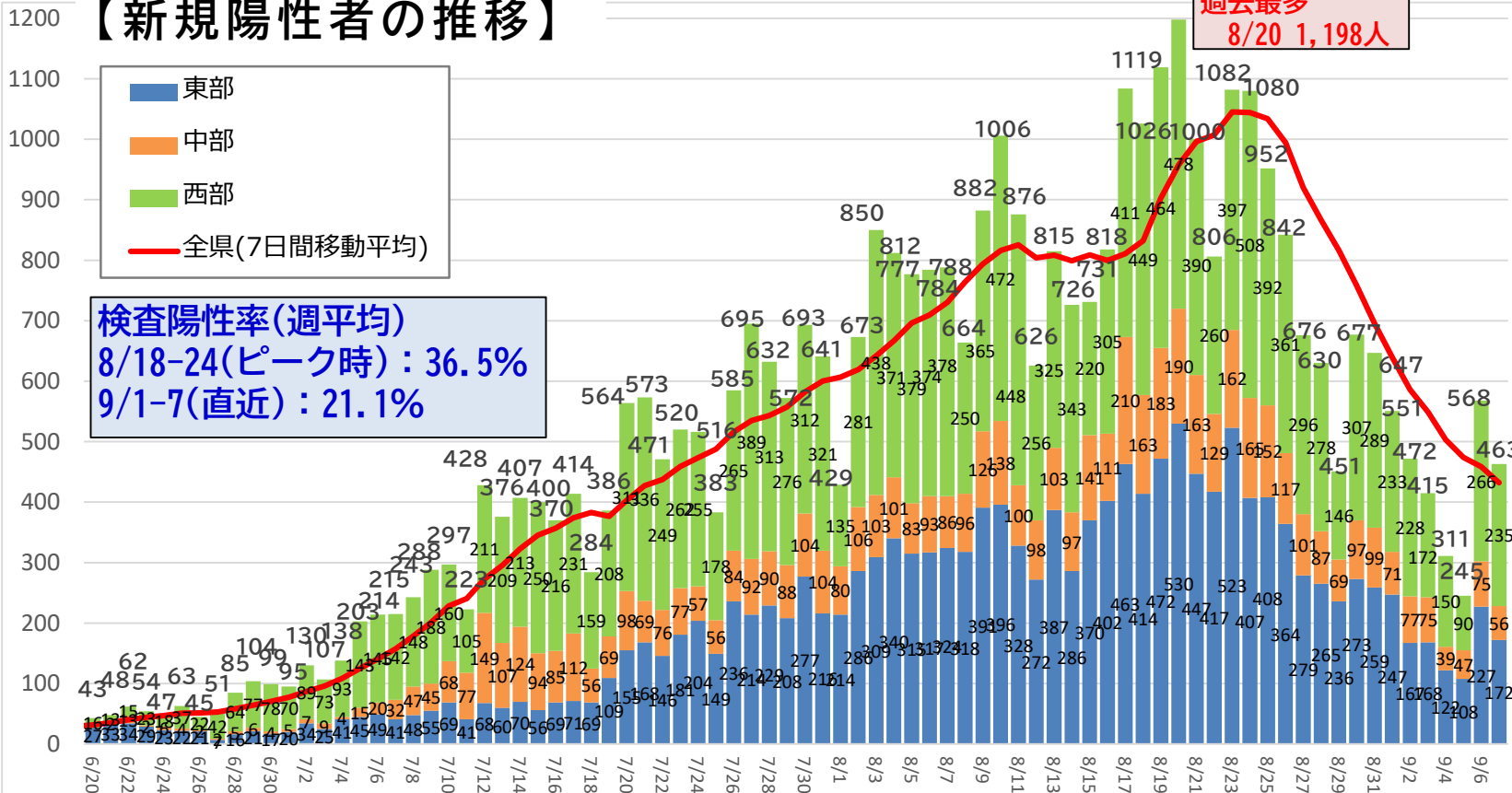


# 第7波の新規陽性者数の推移・クラスターの傾向

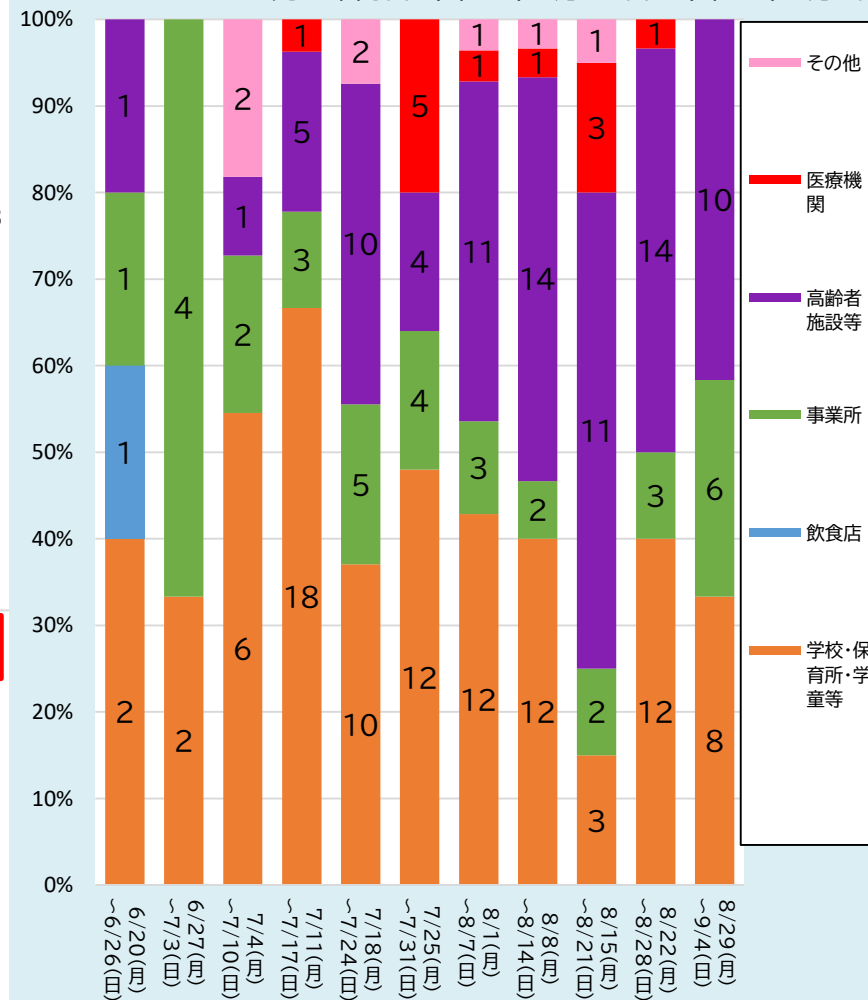
## 【新規陽性者の推移】



## 県内で233件のクラスターを確認

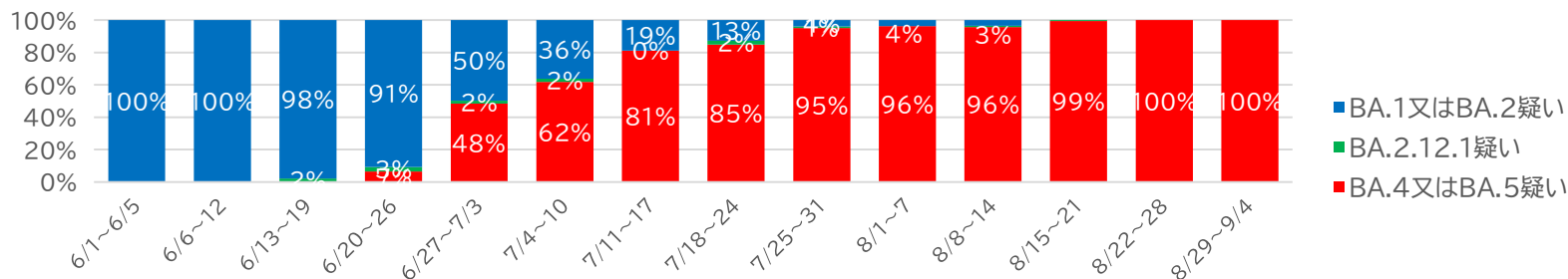
- 高齢者福祉施設等でのクラスターが引き続き多発。
- 新学期が始まり、学校でのクラスターも発生するとともに、事業所でのクラスターも増加。

発生確認日: 令和4年6月20日～令和4年9月4日



【鳥取県版新型コロナ警報】西部「特別警報」、東部「警報」、中部「注意報」発令中 【感染急拡大嚴重警戒情報】全県に発令中

## 変異株スクリーニング結果の推移



# BA.5対応型安心確立進化系システム

【発生届の届出対象外の方】

医療機関受診/行政検査/無料検査

医療機関等で案内チラシを配布

発生届の対象者を限定

陽性者コンタクトセンター登録  
(電子申請5割、電話5割)

手続の簡略化により  
当日中に受付処理完了

**1日スピードアップ**

在宅療養・宿泊療養

症状軽快

症状悪化

かかりつけ医等受診

重症化リスクを把握

発生届(ハースス入力)

療養先調整

療養終了

療養証明

入院

宿泊療養

在宅療養

**登録対象者の登録割合 97.4%**

9/2~5の登録者数 1,156人

9/2~5の陽性者数(届出分を除く) 1,187人

**医療機関から患者への説明に要する負担を軽減**

**医療機関から歓迎の声**

・多いときは1日10人前後の届出をしていたが、ほとんどの患者の入力の必要がなくなる(小児科医)

・ほとんどの患者が軽症で済むため、恩恵は大きい(小児科医)

**軽症者・重症の届出対象者への対応が迅速化**

**登録翌日から健康観察スタート** ※患者急増後は届出から数日要していた

My HER-SYS利用:9割 電話によるサポート:1割

**パルスオキシメーター等支援物資も翌日発送**

**届出対象者と同様に療養サポート**

健康観察中に基礎疾患があることが判明し、保健所対応に切り替えた事例も

**実稼働を踏まえた改善の方向性**

- ・ 夜間・休日等の診療体制強化を検討
- ・ 陽性者コンタクトセンターへの医師、看護師等の増強
- ・ 聞き取り・登録等、定型的な業務の外部委託を検討

# 2価ワクチン(BA.1)の接種開始

オミクロン対応型ワクチン(2価ワクチン)が9月中旬以降、順次供給開始 ⇒ **129,060回分**

9/19の週(47,590回分)、9/26の週(47,540回分)、10/3の週(33,930回分) ※10/3以降のワクチンは順次供給予定

国  
指  
針

- ①9月半ば前倒し配送分は重症化リスクが高い等の理由で、現行の4回目接種対象者となっている者のうち未接種の者を優先  
→一定の完了が見込まれた自治体は、配送ワクチンの範囲内でその他の者に拡大(地域の実情に応じて対応可)
- ② 上記以外の全ての初回接種完了者への接種は10月半ばを目途として準備を進める

○ **高齢者等4回目未接種者への接種を実施。**

○ さらに、**接種を希望される12歳以上のすべての者に門戸を広げて接種を検討。**



① **高齢者等への早期接種勧奨**

② **会場増強・時間延長 ⇒ 目標 5,000回/日**

(8月接種実績: 平均2,944回/日)

※全国100万回/日ペースの体制整備

③ **12歳～59歳への接種券送付**

④ **県営接種会場 ⇒ 9/24開始へ準備**

**新日本海新聞社、(新)イオンモール鳥取北・日吉津**

接種が可能な時期(前回接種から5カ月経過後)	R4.9月	R4.10月	R4.11月	R4.12月
(前回接種の時期)	(R4.3月)	(R4.4月)	(R4.5月)	(R4.6月)
<b>60歳以上</b>	<b>60,981</b>	<b>13,439</b>	<b>3,211</b>	<b>1,076</b>
3回目接種完了しており4回目が未接種の方	50,614	13,307	3,131	1,025
2回目接種完了しており3回目が未接種の方	10,367	132	80	51
<b>12～59歳</b>	<b>108,413</b>	<b>47,234</b>	<b>22,568</b>	<b>8,783</b>
3回目接種完了しており4回目が未接種の方	46,413	45,967	21,816	8,377
2回目接種完了しており3回目が未接種の方	62,000	1,267	752	406
合計	<b>169,394</b>	<b>60,673</b>	<b>25,779</b>	<b>9,859</b>



ワクチン供給	95,130	33,930	※順次供給予定	
--------	--------	--------	---------	--

→ **9月9日接種体制協議会で方針決定**

**小児接種の努力義務化と3回目接種の開始(9/6～)**

**市町村や医療機関と連携し、接種会場の増設等、小児の接種をさらに促進**

- ・ 学校や保護者への働きかけ、広報の強化…ワクチンの効果や安全性のわかりやすい説明
- ・ 接種会場の増設 10月以降の接種需要増を見込んだ準備

# 福祉・医療施設感染対策センターの運用状況

福祉施設・医療施設からの陽性者の報告を受け速やかな感染状況の把握と相談、支援に応じるため9月2日に新設

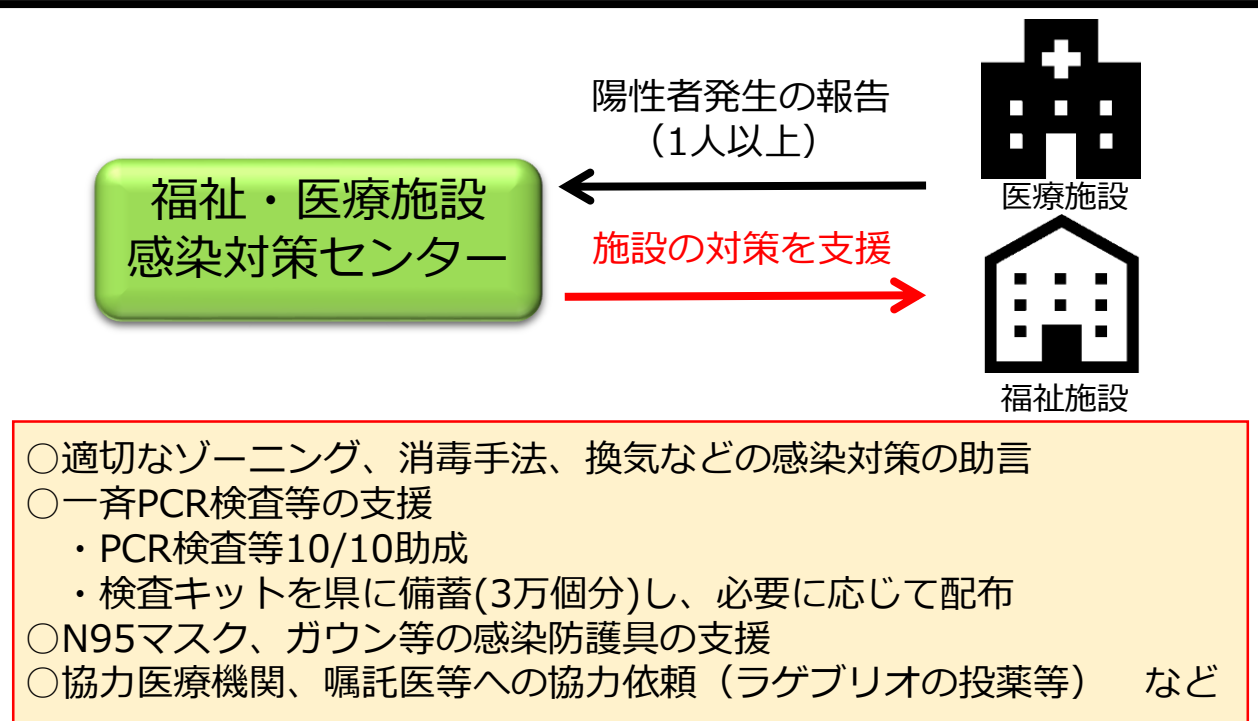
<9 / 2～7の対応状況>

(陽性者の把握)

福祉施設 144件 (51施設)  
医療機関 43件 (15機関)

(支援内容)

- ・現地でのゾーニング等感染対策の助言等 12件
- ・要請のあった施設に抗原検査キット配布 9件
- ・報告のあった施設と連絡を取り合い検査実施等について助言 (自主検査が難しい場合は行政検査を実施 行政検査3件)



(現時点の課題)

- ・施設における自主検査の範囲等について、判断が難しいとの意見
  - 施設とコンタクトをとった際に助言するほか、今後、濃厚接触者の基本的な考え方や注意すべき具体的シーン (入浴介助、送迎等) ごとの考え方をまとめたQ&Aを作成・発出。



# とっとり孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム創設

**行政と、NPO法人や社会福祉法人等の民間支援機関との一層の連携を図り、誰一人取り残さない孤独・孤立対策を官民一体で推進していく。**

■新型コロナの影響の長期化

■行政のみでは困難又はなじみづらい問題等への民間と連携した対応

■ライフステージ、属性等に応じた幅広い分野への対応



## とっとり孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム(新設)

### プラットフォームの概要

- ・構成機関：行政（県、県教委、市町村）、社会福祉法人、民間支援機関（ひきこもり、自死、ひとり親など）等
- ・第1回会議を9月14日（水）開催

### プラットフォームをはじめとする孤独・孤立対策の取組予定

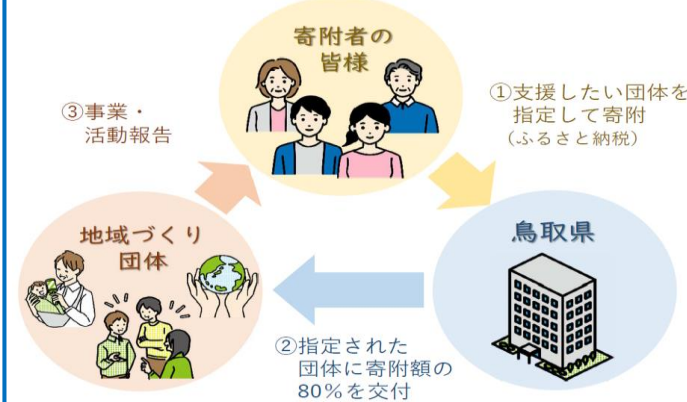
- ・アンケート調査により県内の孤独・孤立の状況を調査・分析 →対策立案等につなげる
  - ・孤独・孤立対策に取り組むNPO法人等を支援 →「ギフ鳥」の活用など
  - ・広報ツールを作成し、イベント、各種居場所で配布等
  - ・各支援機関の支援内容等について各相談窓口等で共有
  - ・取組事例研究会の開催
  - ・令和5年度実施事業の予算化に向けた意見交換
- 孤独・孤立を抱える方を支援機関につなげる等

## “ギフ鳥 ~GifTori~”

ふるさと納税を活用して、県内活動団体を支援する制度

**9/10から寄附募集開始!**

〔イオン鳥取北での県民の日イベントの中で、登録団体が活動内容を発表・PR〕



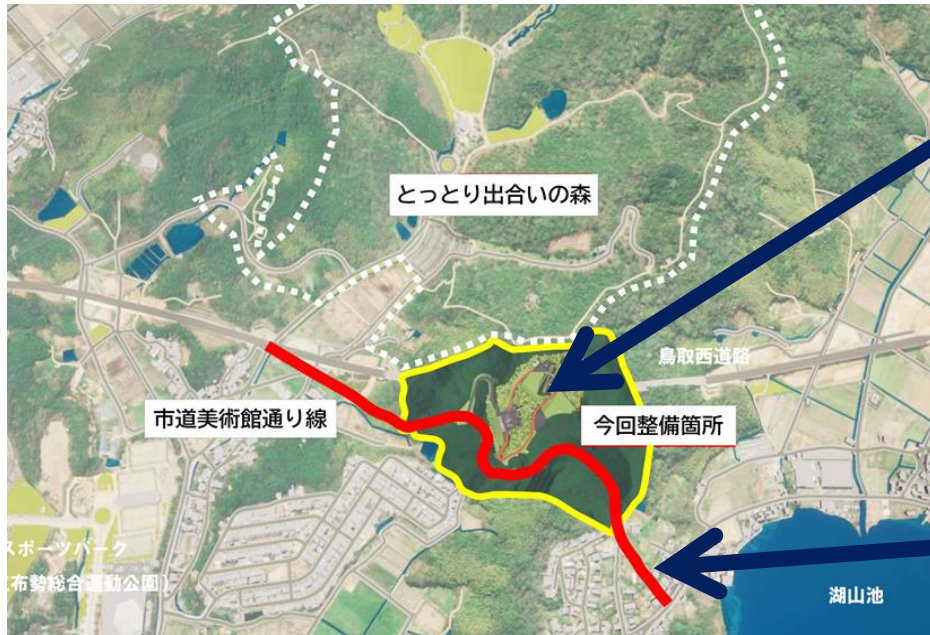
**今後、政府による物価・賃金・生活総合対策の策定を踏まえ、追加県予算を検討**

# 旧鳥取少年自然の家跡地整備(案)

◆「遊歩道」「多目的広場」を中心として現地の豊かな自然や地形を活かした施設の整備を計画  
(～R5.3詳細設計中)

◆以下の方針を鳥取市に伝え、市と調整中(地元自治会にも説明済)

- 整備後は「とっとり出会いの森」の一部として一体的に管理
- 市道美術館通り線について
  - 市から県に移管を受け、新設多目的広場へのアクセスとなる管理道を県の事業として整備
  - これまでに市道整備に要した事業費の市実質負担額については、管理道整備の一環として県が全て負担



【遊歩道・多目的広場整備イメージ】



【市道美術館通り線】

# 【9月補正予算案】「住まあとっとりプロジェクト」の更なる推進

## ビッグデータを活用した健康増進

3,961万円

- 県国民健康保険団体連合会が保有する**健診・医療・介護等のビッグデータ**を基に、国保加入者（県民）の**疾病リスクや将来予測等を分析**。
- 国保加入者及び自治体に**アプリケーションで情報提供**  
⇒ **疾病リスク等を「見える化」**することで予防行動、受診行動を促進

R4年度：自治体が効果的・効率的な保健指導・受診勧奨を行うためのアプリを開発

- ・人工透析・脳卒中・介護フレイル等のハイリスク者を自動的に抽出できる！
- ・保健指導・健康教室がやりやすくなる！





【今後のスケジュール】

- R5年度：健診結果や疾病リスク等を国保加入者自身がスマホで閲覧できる**アプリを開発**
- R6年度：AIを活用した疾病の将来予測を導入

## スマート畜産の導入

685万円

- 県内畜産業の生産性向上を図るため、**畜産向けのスマート機械を初めて導入**

スマート機械	用途・効果
牛の行動モニタリングシステム （※個々の牛へ人工知能センサーを装着） 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個々の牛の健康状態や行動データをリアルタイムで把握し、見える化</li> <li>・ 疾病や転倒事故などの早期発見、早期対処</li> </ul>
飼料用稲の農薬散布用ドローン 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効率的な農薬散布による労働力削減や均一散布による生産拡大</li> </ul>

## GIGAスクールの推進

2億6,175万円

- **GIGAスクール構想2年目**となり、1人1台端末環境を活用した**デジタル学習環境を深化**  
とっとりデジタルコレクションや学習支援プラットフォームとの**データ連携基盤を整備し、ワンストップでアクセスできるポータルサイトを構築**

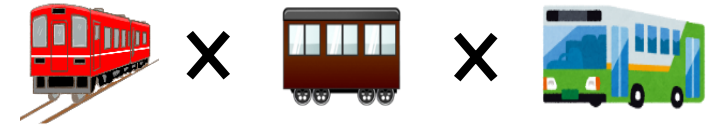
- ・歴史の授業で、関連する鳥取県の歴史資料に簡単にアクセス
- ・美術ラーニングセンターの取組で、郷土作家に関するワークショップにデジタル画像を使いやすい。





# 【鳥取型MaaS】JR因美線・若桜鉄道・日交若桜線共通パス

## 鉄道とバスが両方乗れる共通パスの実証実験がスタート



【実証実験期間】10月10日（祝・月）～12月30日（金）

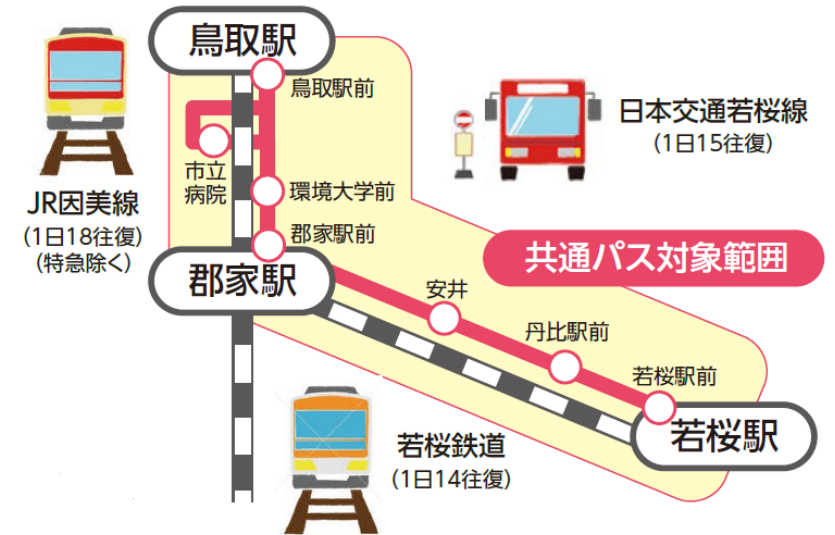
【チケット概要】JR因美線、若桜鉄道、日本交通若桜線で連続する5日間乗り放題  
鳥取－若桜間 4,400円、鳥取－郡家1,700円 など

## JR・3セク鉄道・路線バスの共通パスの発売は県内初！

JR西日本の「観光向け」電子チケットアプリ「setowa」<sup>セトワ</sup>を活用して販売

鳥取－若桜間は、**鉄道14往復**（若桜鉄道接続便）、**バス15往復**が、**共通パス化で合計29往復**となり、**実質的な利便性向上**が図られる。

スマホで電子チケットを事前購入し、乗降時は駅員に**スマホでチケット画面を見せるだけ**で乗降可能。



**モニターを100名募集**し（モニターには利用料金の半額を補助）、自家用車からの転換に係る課題を洗い出し、サービス内容の改善を図っていく予定



# 県営住宅上粟島団地建替整備へ

- 建替時期が迫る上粟島団地と富益団地を集約し、未来型の集合住宅として建替を計画
- カーボンニュートラルの実現に向け、積極的に省・創エネ化、木造化を推進

## 県営住宅の配置・住戸規模の最適化

- 上粟島団地(48戸)と富益団地(88戸)を集約し、3棟60戸を整備
- 多様な世帯に対応する1DK~4DK・車いす対応の間取りを設定

## ゼロエネルギー化に向けた省エネ・創エネの推進

- **県営住宅初**の「とっとり健康省エネ住宅性能基準」(NE-ST)の採用
- 太陽光発電設備設置による再生可能エネルギーの活用

## 県産木材の積極的な活用

- Co2吸収源対策につながる木造化を推進(2棟を木造)
- 木造住棟は構造体に県産CLTの活用(**県内初**)を検討



## 想定事業スケジュール

- R4 : 基本計画策定・導入可能性調査実施  
[PFIで実施する場合]
- R5 : PFI実施方針策定
- R6 : PFI事業者選定
- R7~: PFI事業実施

# 山陰海岸ジオパークのユネスコ世界ジオパーク審査

山陰海岸ジオパークの再認定審査の予定（現地審査：10月9日～13日）

12日(水) 山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館、山陰松島遊覧、砂丘ビジターセンターを訪問

13日(木) 指摘事項等打ち合わせ・講評（次の審査、阿蘇ジオパークへ）

## ■ 審査員



（シニア審査員）

Mr. Sigurður SIGURSVEINSSON

（シガ-ダ-ル・シガ-ベ-インソン）

アイスランドのカトラジオパーク



（審査員）

Mr. Azmil Munif Bin MOHD BUKHARI

（アズミル・ムニフ・ビン・モト・ブカル）

マレーシアのランカウイジオパーク

➤ 前回(H30)の世界審査時の指摘や昨年実施された日本ジオパーク委員会の事前確認の際の助言等に万全を期して臨む

## ■ 指摘・助言に対する対応（審査のポイント）

パンフレットやウェブサイトの多言語化 ▶▶ 英語版ウェブサイトの作成、山陰海岸ジオパークトレイルパンフレットの日英版の作成等

ジオパーク活動に係るパートナーシップの戦略 ▶▶ 民間3社とのパートナーシップ協定締結（株）山陰松島遊覧、朝野屋、日和山観光(株)

ユネスコ世界ジオパークとの連携強化 ▶▶ タイ・サトゥーンジオパークとの交流、中国黄山(ホアンシャン)ジオパークとの連携に係る調整開始

鳥取砂丘の調査研究 ▶▶ 鳥取砂丘ビジターセンター（前回現地審査後の2018年10月オープン）において調査研究成果の展示解説

➤ **年内にユネスコのカウンシル → 早ければ来年1月には結果公表へ**

➤ 再認定実現に向けて、ジオパークに対する理解の深化や観光誘客を図る取組を行う

○山陰海岸ジオパークフォーラム「えっ！演劇とジオ？」 9月19日(月・祝)14時～ 鳥の劇場(鳥取市鹿野町)

○山陰海岸ジオパークを活用した誘客促進・魅力発信の強化（関連予算を9月議会に提案）